

## 賃貸から持家、そして賃貸へ

これは名古屋に来て最初に入居した住宅の取り壊し中の写真である。東山公園の新池近くにあり、「新池ビル」と呼ばれていた賃貸住宅である。不動産屋の紹介によるもので、当時から古い建物ではあったが、周囲の環境の良さに引かれて入居した。東山動植物園の緑を眺めることができ、新池や平和公園を散策するのに絶好の場所であった。半分くらい



取り壊しが終わった頃に撮った写真であり、入居していた3階の部屋が辛うじて残っていた。無残な姿になった住宅を見て、あの頃の生活を思い出すなど複雑な心境であった。

次の写真は「新池ビル」を脱出して、購入したマンションである。賃貸から持家への「大転換」である。これも東山公園から徒歩7~8分のところであり、ご覧のような急傾斜地に立地しており、たどり着くまでに長い階段を登らなくてはならない。見晴らしは良いのだが、この階段と騒音には悩まされた。建物の構造にもよるが、上の階の音がよく響いた。ある時、上の階から出火して、あわや水漫しになるところだった。それと入居してからすぐに集中豪雨に見舞われ、濁流が部屋まで入りそうになり、必死で水をくみ出したことも忘れられない。



このマンションを買ったのが、バブル全盛の頃であった。不動産屋の甘い言葉を信じて購入したのだが、騒音や火事騒ぎ、そして管理上の問題などから、ここから脱出することにした。バブルが崩壊して中古マンションは暴落した頃であり、損を覚悟で売りに出した。この階段などから買い手はなかなか見つからなかった。持家に懲りたこともあり、いまは再び賃貸住宅に「沈滞」している。

(4月10日 記)